

# 生まれた雌子牛は育成段階で 牛群検定加入を!

生まれた雌子牛は、  
遅くとも初回授精を開始するまでには  
牛群検定に加入させましょう。

牛群内のすべての育成牛が早期に牛群検定に加入することによって、需要に見合った生乳の生産など経営計画が立てやすくなります。また、繁殖台帳Webシステムなどの利用価値も高まります。

育成段階での検定加入が徹底されると、牛群検定成績表の内容が一層充実するだけでなく、後代検定娘牛の保留状況や初産分娩に関する繁殖記録の正確かつ迅速な把握が可能となり、後代検定をより円滑に実施できるようになります。

未経産牛については、牛群検定費用は徴収されません。後代検定娘牛の早期牛群検定加入を徹底させましょう。



育成中に  
牛群検定に  
加入しよう!

加入料は  
タダだよ!

## ! 育成段階で検定加入するメリット

- 1 分娩予定  
牛群検定より授精を報告することで正確な分娩予定日等を得られます。
- 2 遺伝情報  
血統情報から、遺伝能力(PA)が得られます。
- 3 次世代診断情報  
初産分娩時の注意情報(難産や死産)が得られます。
- 4 交配種雄牛情報の利用  
繁殖台帳Webシステムにより近交等を避けた優良な交配種雄牛の選定ができます。

検定未加入の育成牛は、検定組合P Cから検定立会時に検定員のハンディターミナル(A R K-4 0 0)にデータ送信されていますので、ワンタッチで未經産加入ができます。